



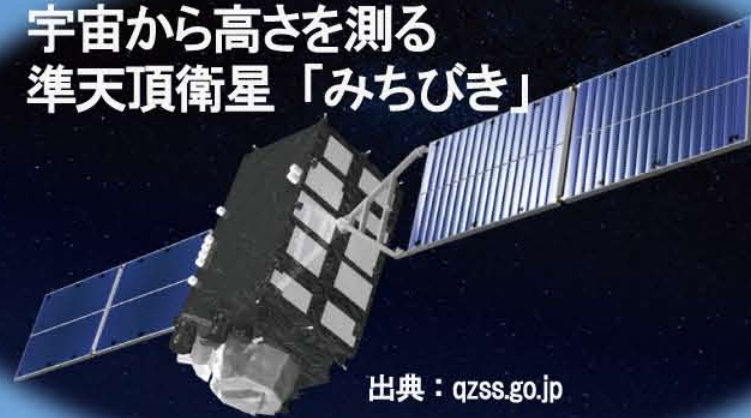
2019 年は「近代測量 150 年」

企画展

高さってなんだろう？

— より正確な高さをもとめて —

宇宙から高さを測る
準天頂衛星「みちびき」



出典：qzss.go.jp

講演会のお知らせ

日時：3月16日（土）

11時と13時30分からの2回開催

演題：「高さの世界」（仮題）

講師：国土地理院 大滝 修

会場：オリエンテーションルーム

富士山の高さはどうはかる？

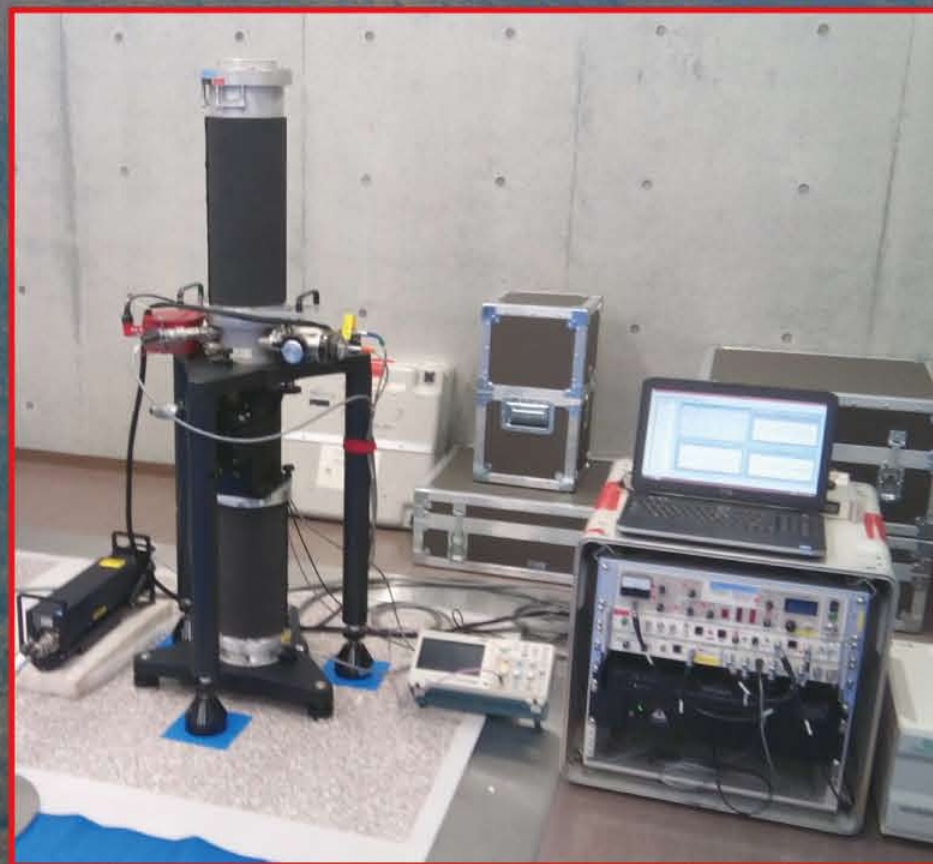
重力と高さは深い関係！



東北地方太平洋沖地震後の高さを測る緊急測量



高さの基準「日本水準原点」



絶対重力計 FG5

2019. 3.12_(火) ~ 6.30_(日) 開催

地図と測量の科学館

茨城県つくば市北郷 1 番 国土地理院構内

URL <http://www.gsi.go.jp/MUSEUM/>

交通案内

- ・TXつくば駅から関東鉄道バス5番乗り場（建築研究所・下妻駅行）乗車、約10分、「国土地理院」下車
- ・サイエンスツアーバス……研究機関等を巡る1日乗降自由の周遊バス（土日・祝日運行）
- ・TX 研究学園駅からつくバス（吉沼シャトル）乗車約15分「国土地理院」下車（平成31年4月より運行開始）
- ・無料駐車場あり（大型可）

・ <http://www.gsi.go.jp/GSI/CONTACT-g-kotu.html>



〈開館時間〉 9時30分から16時30分

〈休館日〉 毎週月曜日

ただし、4月29日（月）「昭和の日」と5月6日（月）
「振替休日」は開館し、5月7日（火）は休館します。

入場無料



国土交通省
国土地理院
Geospatial Information Authority of Japan

本年（2019 年）は、明治政府に近代測量を行う機関が設置された 1869 年（明治 2 年）から満 150 年に当たります。国土地理院は、本年を「近代測量 150 年」と位置づけてさまざまなイベントを実施します。

国土地理院の役割「国土を測る・国土を描く・国土を守る」について、150 年の歩みを地図と測量の科学館の企画展で、詳しく伝えてまいります。近代測量 150 年の第一弾は、「国土を測る」で高さをテーマに開催します。

企画展 高さって何だろう？ ーより正確な高さをもとめてー

皆さんは自分の住んでいる土地の高さや有名な山の高さを「標高何m」ということがあると思います。それでは「高さ」や「標高」とは何でしょうか？ 例えば、富士山は 3,776m と誰もが知っていますが、どこから測って 3,776m でしょうか？ その高さはどのように決めたのでしょうか？

実は、正確な「高さ」のうらがわには複雑な事情がひそんでいます。高さを決めているのは地球の形や内部構造、そして地球の重力です。このため、高さを精密に決めるためには非常に大変な測量が必要なのです。

国土地理院では明治以来約 150 年に渡って精密な測量を繰り返し、土地の高さを求めてきました。今回の企画展では、生活に密接に関わる「高さ」について、少しでも理解していただくよう分かりやすく説明します。

企画展では、地面の高さと正確な位置、地面の変動を求めるための最新の測量技術も紹介します。このほか、東京都内にある明治時代の高さに関する測量史跡マップや、最新の高精度な高さのデータを使った地面の凸凹地図を展示します。

これらを通じて「高さ」や「測量」を身近に感じて頂ければと思います。

【主な展示内容】

- 地面の変動
- 富士山の高さ
- 重力ってなに？
- 最新の測量技術

地図と測量の科学館